

大王製紙株式会社可児工場 公害防止改善計画(R3年度)

大王製紙グループは、経営理念「世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ」を実現するために、グループ一体となり事業活動に取り組んでいます。

可児工場では、令和3年度に以下の環境対策及び、地域とのコミュニケーション活動を行っていきます。

地球温暖化対策

対策事項	対策予定月
石灰焼成炉 ^{※1} の燃料を重油から都市ガスに変更	令和3年10月

可児工場に2基ある石灰焼成炉の内1基について、令和2年度に燃料をC重油から二酸化炭素の排出係数^{※2}が低い都市ガスに変更しましたが、残りの1基についても同様に燃料をC重油から都市ガスに変更します。

これにより、令和3年度の可児工場の二酸化炭素排出量を約2.5%削減することができます。

※1 石灰焼成炉とは、パルプ製造時に使用する生石灰(CaO)を循環再利用するために、使用後に炭酸カルシウム(CaCO₃)となった石灰を焼成して生石灰(CaO)にする設備です。

※2 二酸化炭素の排出係数

C重油:3.00tCO₂/t、都市ガス:2.23tCO₂/1,000Nm³

〔出典〕 環境省 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度

算定方法及び排出係数一覧 (参考1)燃料の使用に関する排出係数

臭気対策

対策事項	対策予定月
吸引ポンプ排気を脱硫装置で処理して臭いを減少	令和3年10月

石灰焼成炉で焼成する石灰は、吸引ポンプで吸引して脱水してから石灰焼成炉で焼成しています。

吸引ポンプの排気に少量の臭い成分を含有しているため、現状は大気放出している排気を既存の脱硫装置(スクラバー)で処理してから排出するように配管を変更し、臭い成分の排出量を減らします。

黒液ボイラー^{※1}ばいじん^{※2}対策

対策事項	対策予定月
黒液ボイラー内部にばいじんの掃除装置を増設	令和3年10月

黒液ボイラーの出口には集じん機を設置しており、99%以上のばいじんを捕集していますが、集じん機に流入するばいじんの量が急激に増えると捕集効率が低下してしまうことがあります。

黒液ボイラー内のばいじんが付着しやすい箇所にはばいじんを掃除する装置を設置し、定期的に掃除を行うことでばいじんが溜まらないようにして、溜まったばいじんが急激に集じん機に流入しないようにします。

これによって、集じん機の捕集効率が低下するのを防止して、煙突から排出するばいじんの量を減らします。

※1 黒液ボイラー: パルプ製造時に発生する廃液(黒液)を燃料としています。

可児工場に2基ある黒液ボイラーの内、内部にばいじんが付着しやすいボイラー1基について実施します。

※2 ばいじん: 燃料等の燃焼に伴い発生するもので黒液ボイラーばいじんの主成分は芒硝(硫酸ナトリウム、 Na_2SO_4)です。

芒硝の安全性: 食品添加物や医薬品としても使用されており、ほとんど有害性は無いものと考えられています。

毒物や劇物取締法の適用は受けていません。

芒硝の用途: 乾燥剤、合成洗剤、入浴剤、食品添加物、医薬用原料、パルプの製造等に幅広く使用されています。

芒硝の性質: 無色または白色の結晶で、水に溶けやすく、エタノールにはほとんど溶けません。

地域美化活動

活動内容	活動予定月
工場周辺道路清掃	随時

地域とのコミュニケーション活動他

活動内容	活動予定月
・就職活動を視野に入れた近隣高校のインターンシップ、企業実習、職場見学の受け入れ 〔設備・生産工程見学による工業知識の習得と併せて、将来の進路選択の参考にしてもらいたいと考えています。〕	随時
・土田自治連合会工場視察	令和3年度内
・市内近隣小学生の授業で工場を紹介 〔より身近な家庭紙商品の製造工程を知ってもらおうと共に、当社の環境への取り組みを理解してもらうため、市内小学校を訪問して授業の中で説明を行います。〕	令和3年10月 ～11月
・令和4年可児市成人式への協賛	令和4年1月
・回覧板による可児工場内での設備点検情報の開示	令和3年5月、9月 令和4年1月
・地元の小学校の古紙回収	随時

※地域活動への参加や工場見学等については、新型コロナウイルスが収束するまでは自粛する考えです。よろしく願いいたします。

※大王製紙グループの「地球環境への貢献」に関する取組みを当社ホームページに掲載しています。

【大王製紙株式会社ホームページ】 <https://www.daio-paper.co.jp/csr/organic/>